

波形測定のパフォーマンスをさらに向上

OTDR AQ7275

AQ7275 OTDRは、最新の光学モジュール技術と短光パルス(3 ns)の発生技術により、OTDRのイベント検出分解能を示すデッドゾーン性能で世界最高クラスの0.8 mを実現しています。さらに、低ノイズな受光技術、高速な信号処理技術により、リアルタイム測定での波形の見易さやスプリッタなど大きな損失後の波形の見易さなど波形測定のパフォーマンスを向上し、お客様の作業効率の改善に貢献します。

FTTH(Fiber To The Home)などの光ファイバネットワークの敷設・保守業務では、「低コスト化」や「作業効率の改善」が強く求められています。OTDRを用いた測定においても、従来の一定時間加算平均して波形取得するアベレージング測定だけでなく、リアルタイム測定による波形確認で作業時間短縮を図る使い方が増え、リアルタイム測定での波形測定パフォーマンスの向上(ノイズの低減)が求められてきました。AQ7275 OTDRは、このような市場動向、ユーザーニーズにお応えします。

[主な特長]

■世界最高クラスの短デッドゾーン0.8 m以下

FTTHネットワークでは短距離でのメカニカル接続などによる反射点イベントを検出するケースが増えてきました。AQ7275の世界最高クラスの短デッドゾーン(イベント検出分解能)で、より短い間隔で近接するイベント検出が可能となりました。

■ノイズの少ないリアルタイム波形

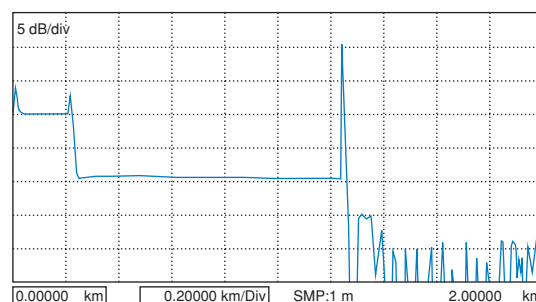
ノイズを抑えて波形が見易くなったことにより、融着接続の状態をリアルタイム測定で確認したり、スプリッタ前後の不具合箇所を探索したりする時に威力を発揮します。

■初めてでも使い易い簡単操作

測定条件を自動設定できる「フルオートモード」や、決まった測定手順を一括測定できる「ワンボタンモード」、測定条件設定をアシストしてくれる「測定ウィザード」機能など、スキルレスでも使用できる操作性を提供しています。



AQ7275 OTDR



1×8スプリッタをユーザー宅側から100 nsパルス幅で測定した波形例(擬似環境による)

[主な仕様]

形名	測定波長	ダイナミックレンジ	イベントデッドゾーン	アッテネーションデッドゾーン
735032	1310 nm SMF	34 dB	0.8 m	7 m (typ)
	1550 nm SMF	32 dB	0.8 m	8 m (typ)
735033	1310 nm SMF	40 dB	0.8 m	7 m (typ)
	1550 nm SMF	38 dB	0.8 m	8 m (typ)
735037	1310 nm SMF	40 dB	0.8 m	7 m (typ)
	1550 nm SMF	38 dB	0.8 m	8 m (typ)
	1650 nm SMF	30 dB	0.8 m	12 m (typ)
735040	850 nm MMF	22.5 dB	2 m	7 m (typ)
	1300 nm MMF	24 dB	2 m	10 m (typ)
	1310 nm SMF	40 dB	0.8 m	7 m (typ)
	1550 nm SMF	38 dB	0.8 m	8 m (typ)

[工場オプション]

- ・パワーモニタ
- ・安定化光源【NEW】(735040 除く)
- ・可視光源【NEW】(735037, 735040 除く)
- ・ダミーファイバ (735040 除く)
- ・内蔵プリンタ, LAN
- ・アングルコネクタ(APC)【NEW】

問い合わせ先：通信・測定器事業部 カスタマサポートセンター
TEL：0120-137-046(フリーダイヤル)
FAX：0422-52-6624